



社会との共通価値創造に向けた今後の商品・サービス戦略について ～お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会的課題を解決する保険の提供～

2021年5月21日

MS&AD インシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）は、「レジリエントでサステナブルな社会」の実現に向け、お客さまに「安全・安心」をお届けしていくため、SDGsを道しるべに社会との共通価値の創造（CSV^{※1}）をお客さま・地域・社会とともに進めることができる商品・サービスのラインナップを拡充していきます。

※1:Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

1. CSV を基軸とした特色ある商品・サービスの展開

MS&AD インシュアランス グループでは目指すべき社会像として「レジリエントでサステナブルな社会」を掲げ、社会との共通価値の創造（CSV）に向けて取組みを進めています。当社は社会的課題の解決に向けて、「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、交通事故削減を目指すテレマティクス自動車保険など、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会的課題解決に資する商品・サービスの開発・提供を進めてまいりました（後記2. 参照）。

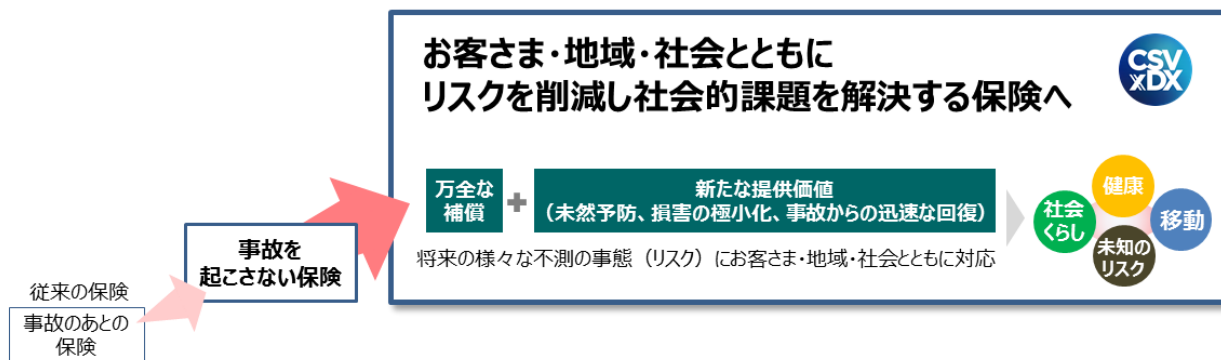
今後は、この考え方・コンセプトを「CSV×DX^{※2}」（シーエスブイ バイ ディーエックス）というキーワードのもとで展開し、幅広い商品・サービスでスピーディに実現していきます。さらに、お客さまが当社商品・サービスにご加入頂くことでSDGsの目標達成に貢献していることを実感できる商品・サービスの提供へと進化させていきます。

※2：デジタルトランスフォーメーションの略語。データやデジタル技術を活用し、価値提供を変革させること

（1）コンセプト（保険を新たな提供価値にシフト）

他業態の企業等との協業・共創や社内外のデータ・デジタル技術活用を強化し、「補償」という保険の基本機能にとどまらず、保険が持つ新たな価値として事故・災害を「未然に防ぐ」機能や事故・災害の「影響を減らし、回復を支援する」機能を開発し、社会的課題の解決に資する付加価値を高めた商品・サービスのラインナップを拡充していきます。

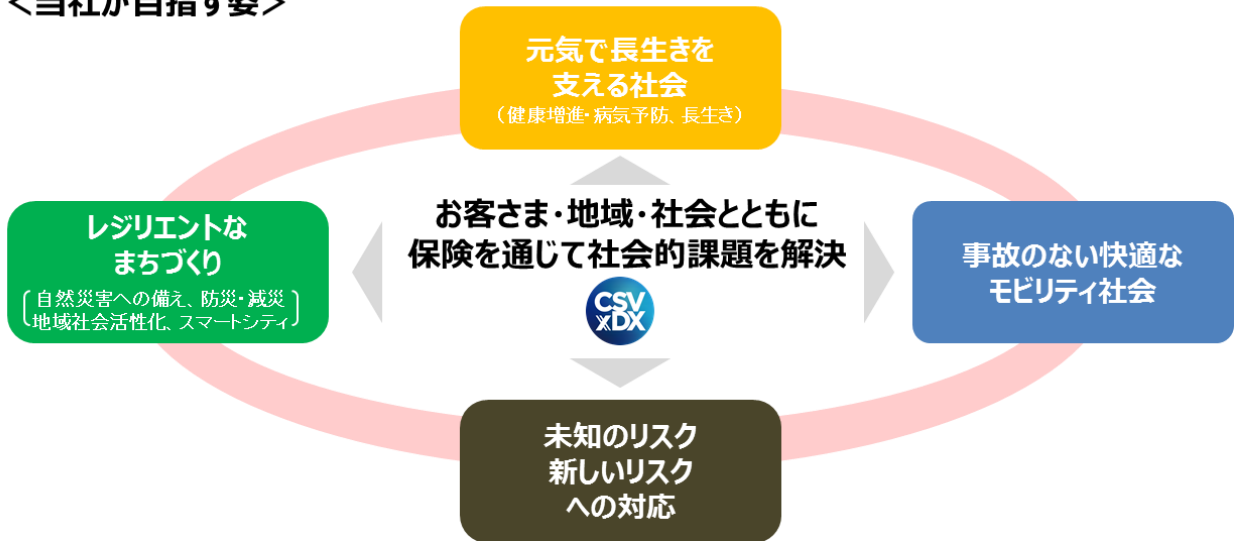
<保険を新たな提供価値にシフト>



（2）目指す姿

自然災害の多発・激甚化や、新たな感染症の拡大による未知のリスク出現など様々な環境変化が起こる中、お客さまやその他のステークホルダーとともに、当社の特色ある商品・サービスを通じて社会的課題の解決に取り組み、「レジリエントなまちづくり」「元気で長生きを支える社会」「事故のない快適なモビリティ社会」「未知のリスク・新しいリスクへの対応」などの実現を目指していきます。

<当社が目指す姿>



2. 社会的課題解決に向けた新たな価値提供<CSV×DXの先行事例>

当社は、この考え方のもと、これまでも様々な社会的課題への解決に向けて、特色ある商品・サービスを通じた多くの取組みを進めてきました。今後はさらに幅広く展開していきます。

(1) 交通事故削減【テレマティクス自動車保険】

当社では、安全運転の度合いを保険料に反映する国内初のテレマティクス自動車保険を2018年4月より発売してきました。この保険では、取得データをもとにドライバーの安全運転状況をスコアにして提供するとともに、スコアに応じた保険料割引体系を導入しています。その結果、当社のテレマティクス自動車保険以外と比較して、事故発生頻度が14%低減しており、お客さまとともに交通事故削減につながっています。

また、万が一の事故が起きた際の自動通報サービスやデータに基づいて事故状況を迅速・的確に把握するテレマティクス損害サービス^{※3}によって、双方に責任が発生する対物賠償保険事故での事故解決日数が約20日短縮するなどの「事故からの迅速な回復」も実現しています。

さらに、蓄積したデータ・ノウハウは、地域自治体との交通安全マップの作成・提供にも活用するなど、地域の「安全・安心なクルマ社会の実現」につながっていきます。

※3：ドラレコ映像・位置情報・加速度等の各種データを活用したAIによる事故検知、事故状況把握、相手車両速度解析、過失判定を行う最先端の事故対応サービス

注：当社のテレマティクス自動車保険とそれ以外での比較

事故頻度	▲14%	事故解決日数 ^{*1}	▲19.6日	契約総合満足度 ^{*2}	+13.1pt	事故対応総合満足度 ^{*3}	+4.7pt
------	------	----------------------	--------	-----------------------	---------	-------------------------	--------

*1：双方に責任割合が発生する対物賠償保険事故の解決所要日数(2019年1月以降発生事故)

*2：当社保険のご契約に関するアンケートで「満足」と回答いただいた割合

*3：当社保険金お支払いに伴うアンケートで「満足」と回答いただいた割合

(2) 防災・減災【cmap活用】

自然災害が多発・激化するなか、当社は、国立大学法人横浜国立大学（学長：梅原 出）およびエーオングループジャパン株式会社（代表取締役社長：谷水 克哉）と共同で、台風・豪雨・地震による被災建物棟数・被災率をリアルタイムで予測する世界初^{※4}のウェブサイト「cmap（シーマップ）」^{※5}をご提供し、被災規模の早期把握や迅速な救助・支援活動に貢献することを目指しております。今後も、このcmapを活用・連携した商品・サービス開発を進め、事故・災害の「未然防止」「損害の極小化」「事故からの迅速な回復」を実現していきます。

※4：2019年6月当社調べ

※5：<https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/service/cmap/>

(3) 食品ロス削減【食 eco (リコール費用保険)】

食品ロスは世界的に注目される社会的課題のひとつであり、日本でも 2019 年 10 月に食品ロス削減推進法が施行されるなど、食品ロス問題の解決に向けた機運が一段と高まっています。当社は、日本初・最大級の社会貢献型フードシェアリングプラットフォームを運営する株式会社クラダシ(代表取締役社長：関藤 竜也)と提携し、2021 年 1 月より食品ロス削減取組で保険料を 10 %割引する「食 eco」^{※6}を提供しています。SDGs 目標である食品ロス削減やエシカル消費(人や社会、環境に配慮した消費行動)を促進することで、社会全体に広げていくエコサイクルの実現を目指します。

※6: https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2021/news_2021010600798.pdf

(4) カーボンニュートラルに向けた取組み【自動車保険】

世界中でカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けた取組みが加速しています。当社は、業界に先駆けて、「地域の移動手段の確保に向けて導入が進む電磁誘導線を活用した自動運転車(低速 EV)向けの割引^{※7}」や「TOYOTA 超小型 EV への車両保険 10%割引^{※8}」を展開し、低廉な保険料の提供を通じて EV をはじめとする環境配慮に資する電動車の普及をサポートしています。

また、安全運転の促進は、エコドライブによる CO2 排出削減や事故時修理の省資源化・環境負荷軽減にも貢献するため、テレマティクス自動車保険のさらなる進化にもチャレンジし続けます。

※7: https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2020/news_2020100800752.pdf

※8: https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2020/news_2020122500793.pdf

(5) 健康増進【健康経営支援保険、テレマティクス自動車保険】

高齢化社会が進展するなかで、健康寿命の延伸は人・社会・企業にとって重要なテーマです。当社は、企業向けの保険として、従業員がケガや病気により働けなくなった場合の収入補償と、AI によって健康診断データ等の情報から将来の健康リスクを算出し、従業員の運動・睡眠・食事などの行動変容を促すアプリ「My からだ予想」を組み合わせた「健康経営支援保険^{※9}」を提供しています。

また、テレマティクス自動車保険で展開する脳トレ(川島隆太教授のいきいき脳体操^{※10})は、高齢者の運転寿命延伸につながり、外出機会の増加による健康増進・地域社会の活性化にも寄与しています。

※9: https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2020/news_2020121000783.pdf

※10: https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2019/news_2019091200613.pdf

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs(持続可能な開発目標)を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



当社は、「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会的課題解決に資する商品・サービスをご提供しております。この考え方・コンセプトを「CSV×DX」(シーエスブイ バイ ディーエックス)というキーワードのもと展開し、幅広い商品・サービスで実現していきます。

